

記者発表資料
配布先:石川県政記者クラブ

発表日時	平成21年1月28日
------	------------

平成20年度 二次補正予算

記者発表資料



取 扱 平成20年度二次補正予算成立後解禁

お問い合わせ先
国土交通省金沢河川国道事務所 TEL 076-264-8800(代)
【治水関係】 調査第一課長 森田(もりた)
【道路関係】 調査第二課長 吉田(よしだ)

平成20年度 二次補正予算(金沢河川国道事務所)

台風、豪雨などによる災害の防止等のために実施すべき事業を推進するための

生活対策として 約 **602 百万円**

さらに上記の目的に加え、公共事業の円滑かつ効率的な執行を図るために、
次年度以降の予算を前倒しする

ゼロ国債として 約 **2,587 百万円**

事務所合計 約 **3,189 百万円**

が配分されました。

※:ゼロ国債とは、債務負担が次年度以降にわたるもので、当該年度中の国費の支出がゼロの国債債務負担行為のことで、年度内に工事の発注が行え、工事が絶え間なくまた早期に工事がすすめられる。

※:国庫債務負担行為とは、通常、単年度での執行となる歳出予算について、完成が数年度を要する事業等で、国会の議決を得て数年度にわたり負担が行える行為のこと。

金沢河川国道事務所 平成20年度二次補正予算表

(単位:百万円)

	生活対策	ゼロ国債	合計
治水関係	300	1,087	1,387
道路関係	302	1,500	1,802
事務所計	602	2,587	3,189

主要事業

治水関係

堤防の質的整備の推進(急流河川対策)【生活対策】

梯川重点区間(小松地区)改修事業の推進【ゼロ国】

河内谷砂防えん堤等の補強対策の整備推進【ゼロ国】

石川海岸 海岸保全施設整備の推進【ゼロ国】

道路関係

一般国道8号(小松バイパスの事業推進)【生活対策】

一般国道159号(金沢東部環状道路の事業推進)【ゼロ国】

一般国道159号(津幡バイパスの事業推進)【生活対策・ゼロ国】

一般国道8号(大岩橋耐震補強事業の推進)【ゼロ国】

一般国道160号(大泊消波対策事業の推進)【ゼロ国】

堤防の質的整備の推進（急流河川対策）

きゅうりゅうかせんたいさく
てどり のみ
手取川水系手取川（石川県能美市）

●安全で安心な地域づくり

- ・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

手取川は、流域の9割を山地が占め、水源から河口までの平均勾配が約27分の1という我が国有数の急流河川です。洪水時の川の流れは非常に大きなエネルギーにより、これまでに幾度となく堤防が破堤し、大きな被害をもたらしてきました。

整備効果

急流河川の洪水エネルギーに対して、十分な安全性を確保するため、既設堤防を拡幅するとともに光ファイバーケーブルによる侵食モニタリングセンサーの整備を実施します。

事業着手

平成16年度

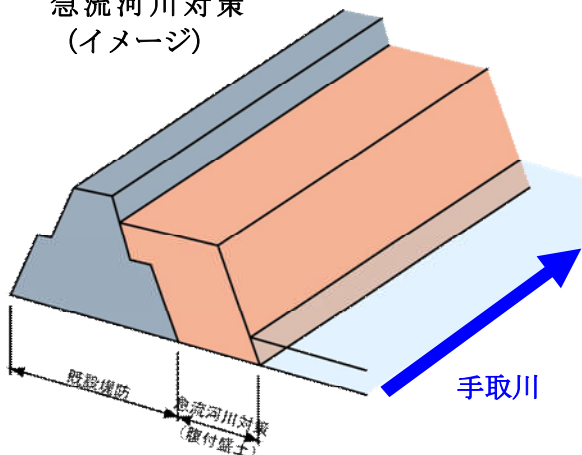
平成20年度二次補正予算の内容

洪水時の局所的な洗掘・侵食から堤防を保護するため、能美市出口地区において、急流河川対策（腹付け盛土）を完成させます。



平成20年4月撮影

急流河川対策
(イメージ)



平成18年7月洪水状況

梯川重点区間（小松地区）改修事業の推進

梯川水系梯川（石川県小松市）

●安全で安心な地域づくり

- ・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川で、氾濫域に人口、資産等が集中している一方で、洪水の流下能力が著しく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している前川合流点～鍋谷川合流点間（1.0k～7.6k 間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次、引堤による堤防整備により流下能力の向上を図っています。

また同改修区間においては小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し、地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

整備効果

重点区間の改修により、洪水を安全に流下させることが可能となり、小松市中心市街地の治水安全度が向上されます。

事業着手

昭和46年度

平成20年度二次補正予算の内容【ゼロ国】

近年洪水では、平成10年9月、平成16年10月及び平成18年7月と「はん濫危険水位」を超え、避難勧告等がなされるなど危険な状況にあることから、引き続き重点改修区間で市街地が隣接している小松地区の堤防整備（引堤）を推進します。

- ・小松地区 築堤・護岸 1式



改修の進む梯川（平成20年4月撮影）

こうちだにさぼう ていほきょうたいさく
河内谷砂防えん堤補強対策の推進
てどり うしくび しらみね
手取川水系牛首川（石川県白山市白峰）

●安全で安心な地域づくり

- ・近年大きな災害を受けた地域における治水事業の重点実施

事業の概要

手取川水系牛首川流域の砂防事業は、大正元年に石川県による施工がはじまり、昭和2年からは国による直轄工事が開始されました。このため、昭和初期に建設された砂防えん堤は、老朽化等に伴い不安定な状態となっている施設が多数存在しています。

土石流や大規模土砂流出に備え、機能・安全度の評価及び下流への影響の評価に基づき危険度の高い施設から順次機能保全を図る補強対策を実施します。

整備効果

既設砂防えん堤補強により、老朽化等に伴い不安定な状態となっている砂防えん堤や機能が低下している砂防えん堤について補修・補強等による機能保全を図ることにより、土石流や大規模土砂流出などの災害に対する下流への安全性の向上を図ります。

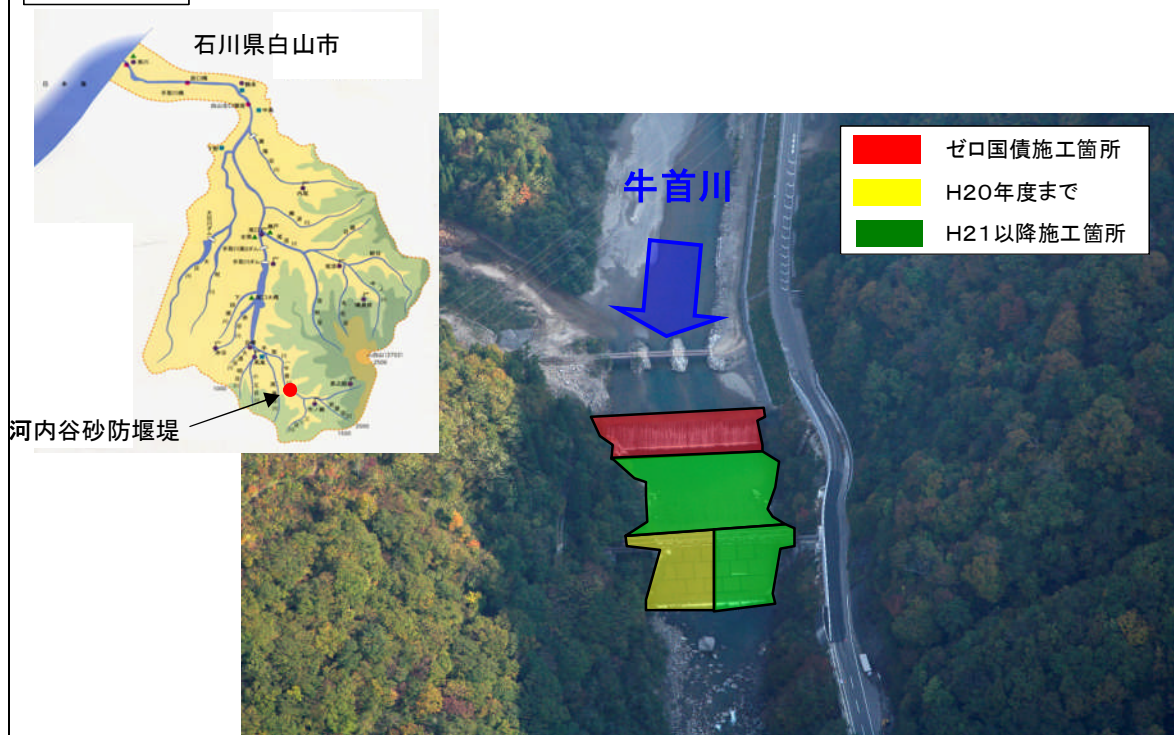
事業着手

平成20年度

平成20年度二次補正予算の内容【ゼロ国】

牛首川では河内谷砂防堰堤の補強対策を推進します。

位置図



石川海岸 海岸保全施設整備の促進 (石川県小松市)

- 安全で安心な地域づくり
 - ・水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服

事業の概要

石川海岸は、加越沿岸の中央に位置し、背後には加賀平野を代表する穀倉地帯が広がっており、近年は海岸沿いの砂丘地も工場地帯や住宅地として発展しています。また、石川海岸は冬期風浪による侵食が著しく、明治以降数百mにおよぶ海岸侵食を受け災害が相次いだことから、直轄海岸保全施設整備事業として、直立堤防・緩傾斜堤・離岸堤・人工リーフの整備を実施しています。

小松工区（5, 540m）は平成16年6月に直轄管理区間となり人工リーフ工事に着手しており、平成20年度までに人工リーフ5基が完成しています。

整備効果

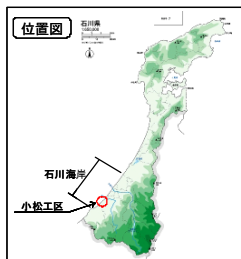
冬期風浪や台風による侵食を防ぎ背後地の安全が確保されるとともに、近年頻発している災害を防ぎます。

事業着手

平成16年度

平成20年度二次補正予算の内容【ゼロ国】

毎年波浪により堤防護岸の決壊や堤防天端陥没等の被災が相次いでいる小松工区において、6基目の人工リーフの暫定断面を完成させます。



小松工区の状況
【小松市浜佐美・日末地先】（平成17年8月撮影）



平成20年度補正 実施箇所
【小松市日末地先】（平成18年5月撮影）

国道8号 こまつ 小松バイパス事業の推進 いしかわ こまつ 石川県小松市

- 活力を育む地域づくり
- 安全で安心な地域づくり
- 住みよい地域づくり

事業の概要

小松バイパスは交通需要をはじめとする諸問題に対応し、かなざわ 金沢バイパス、かなざわ 金沢西バイパス並びに、かが 加賀産業開発道路(主要地方道かなざわこまつ 金沢小松線)と接続することにより、主要幹線道路としての機能を十分発揮するとともに、こまつかが 小松加賀地方圏の更なる発展に大きく寄与する事を目的とした延長約 15.6km の事業です。

整備効果

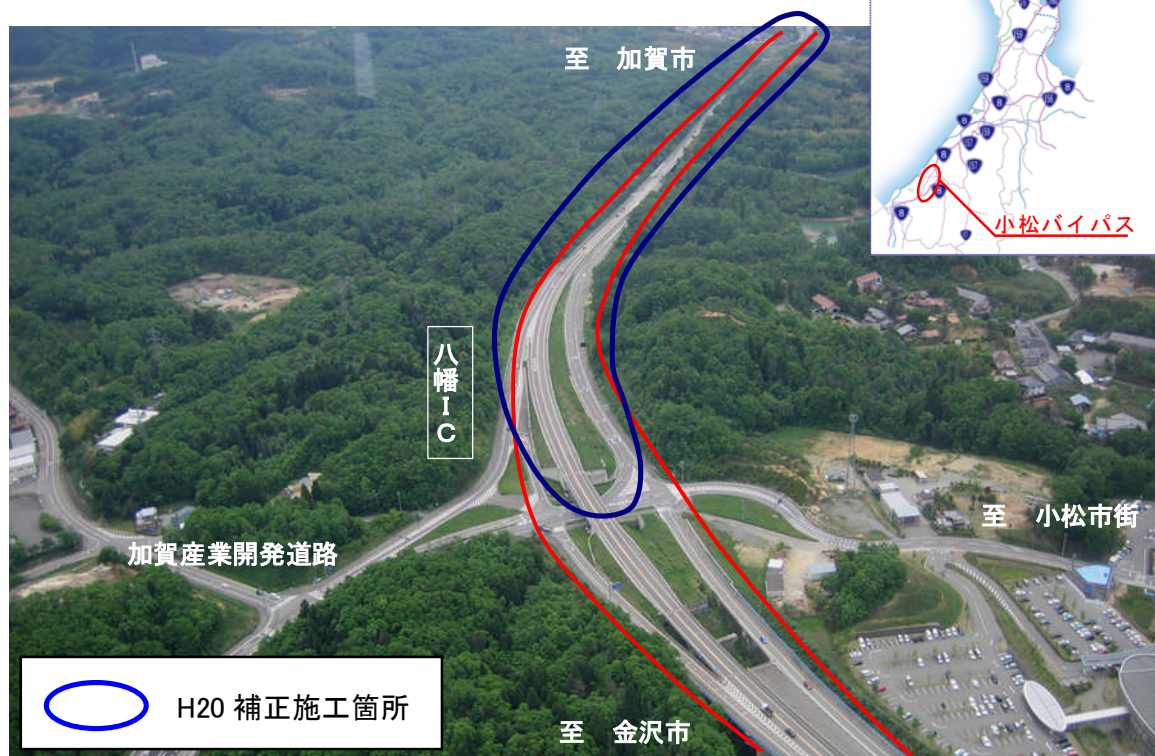
こまつ 小松バイパスの交通容量を拡大することにより、こまつ 小松市街の交通混雑の緩和及び交通事故の減少等が期待されます。また、かなざわ 金沢・かが 加賀方面のアクセス向上が図られ、地域間交流及び地域経済の活性化に寄与します。

事業着手

昭和49年度

平成20年度二次補正予算の内容

やわた 八幡 I C から ひがしやま 東山 I C 間の詳細設計及び橋梁上部工事を推進し、災害時の緊急輸送路となる本事業の早期整備を目指します。



国道159号

かなざわとうぶ

金沢東部環状道路事業の推進

いしかわ かなざわ
石川県金沢市

- 活力を育む地域づくり
- 安全で安心な地域づくり
- 住みよい地域づくり

事業の概要

金沢東部環状道路は地域高規格道路金沢外環状道路の一部を形成し、金沢都市圏内における交通混雑の緩和及び北陸自動車道や能登有料道路とあわせて、広域的な道路ネットワークの形成を目的とした延長約9.4kmの事業です。現在は、増加している交通を円滑に処理するため、鈴見交差点の立体化を推進しています。

整備効果

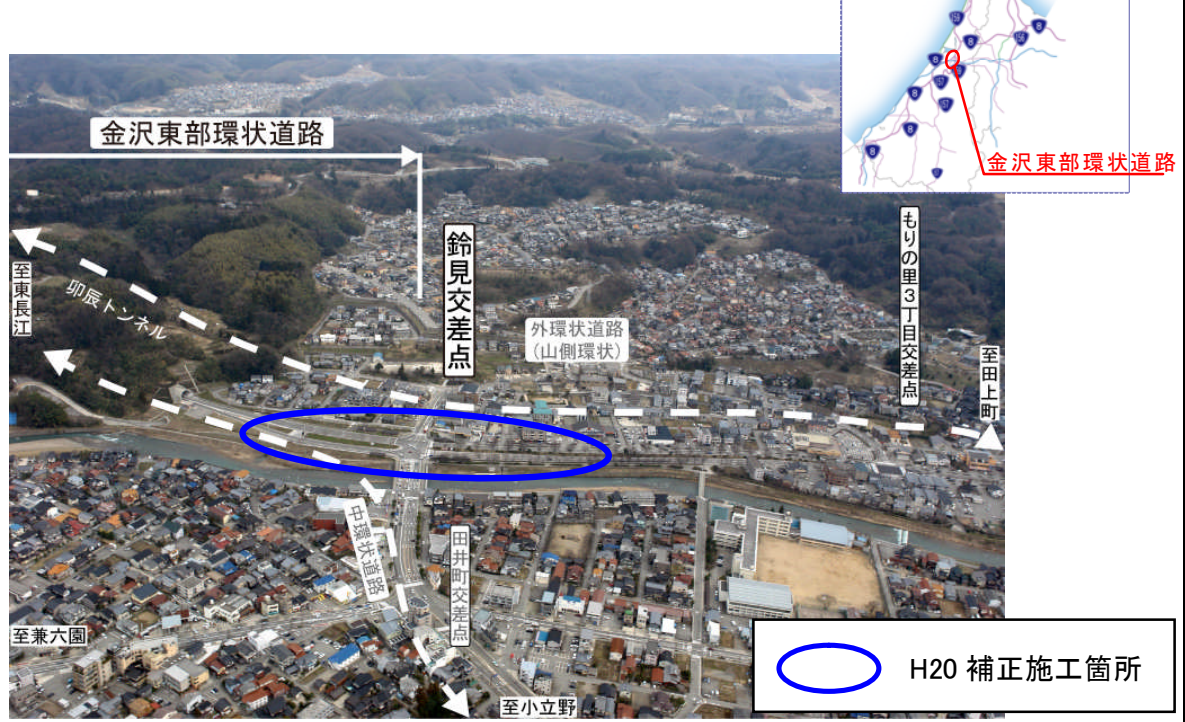
鈴見交差点立体化により、鈴見交差点全体の渋滞が緩和され、交差点内での接触事故や信号待ち車両への追突などの事故の大幅な減少が期待されます。

事業着手

昭和62年度

平成20年度二次補正予算の内容

鈴見地区の舗装工事を推進し、平成21年度に鈴見交差点の立体化を供用する予定です。



国道159号 津幡バイパス事業の推進

石川県かほく市・津幡町

●活力を育む地域づくり

事業の概要

津幡バイパスは、地域高規格道路月浦白尾IC連絡道路の一部であり、石川県かほく市内日角から金沢市今町に至る延長約11.6kmの道路事業です。

整備効果

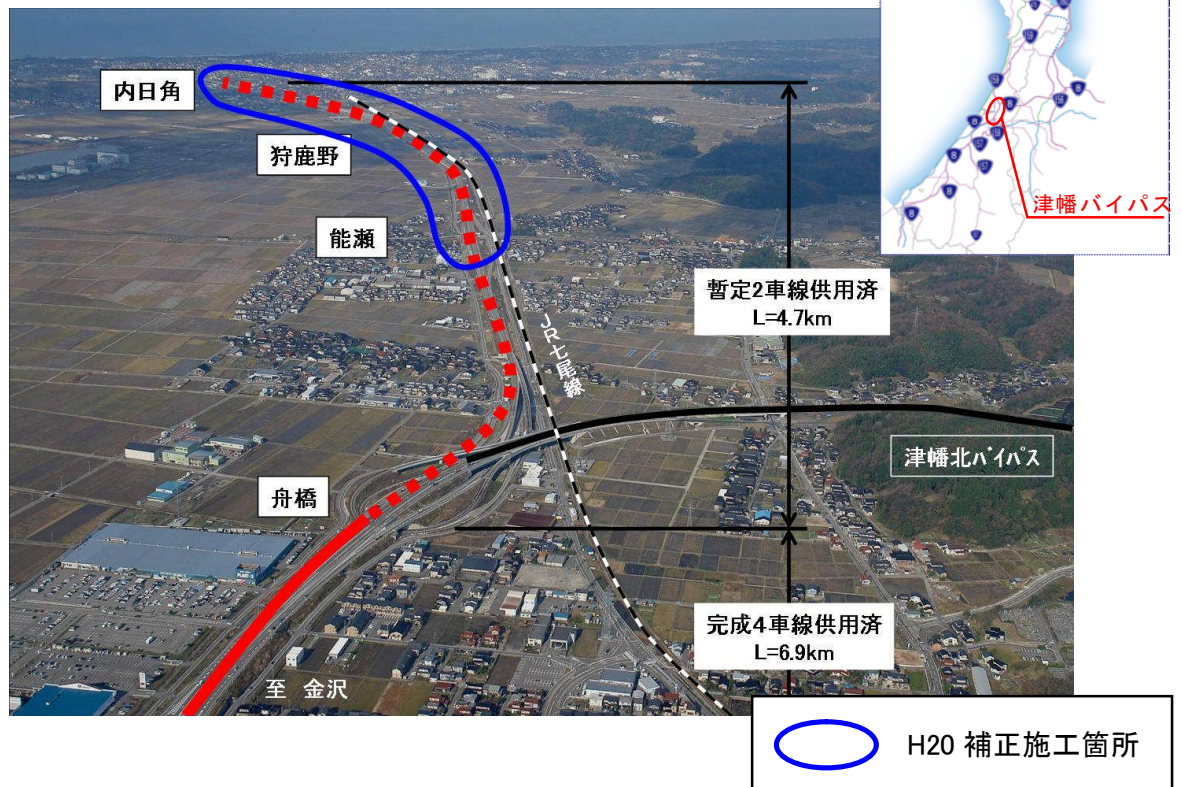
津幡バイパスの整備により、国道159号の津幡町地内の交通混雑の緩和及び金沢市と能登地域との連携強化が図られます。

事業着手

昭和49年度

平成20年度二次補正予算の内容

かほく市狩鹿野から津幡町能瀬地区の舗装工事を推進し、早期供用を目指します。



国道 8 号 おおいわばし 大岩橋耐震補強事業の推進
かほく つばたまち 石川県河北郡津幡町

- 安全で安心な地域づくり
 - ・すべての人が安全、快適に暮らせる生活環境の実現

事業の概要

国道 8 号は、北陸の主要都市を連絡する主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路として位置づけられています。

石川県河北郡津幡町に位置する大岩橋は、日交通量約 1 万 4 千台を支える橋梁であり、被災した場合は、緊急輸送道路の分断及び復旧・救急・消防活動及び経済活動に重大な支障をきたす恐れがあることから、橋脚補強及び落橋防止装置の設置による震災対策を実施します。

整備効果

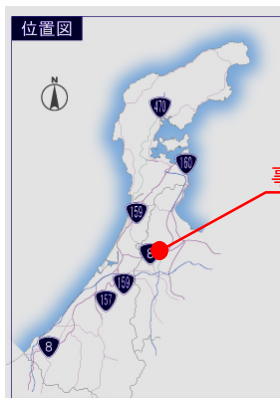
震災時の緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

事業着手

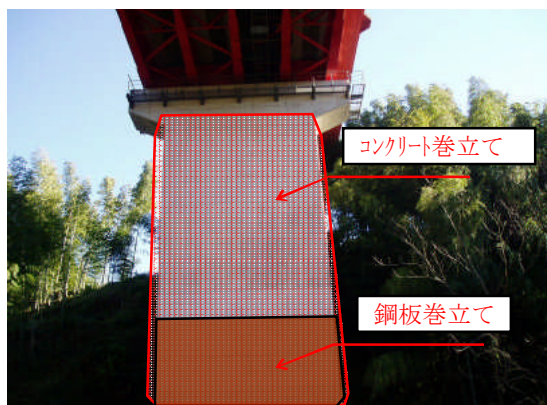
平成 21 年度

平成 20 年度二次補正予算の内容【ゼロ国】

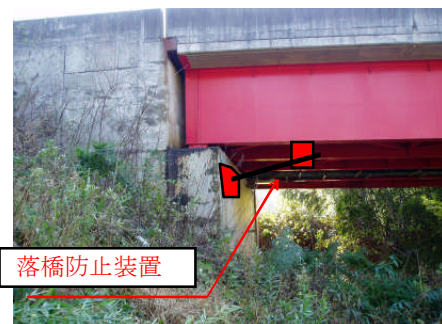
ゼロ国債の充当により大岩橋の橋脚補強（コンクリート、鋼板巻き立て）及び落橋防止装置を設置し、早期に耐震性の向上を図ります。



大岩橋 全景



橋脚巻き立て箇所



落橋防止装置設置箇所

おとまり
国道160号 大泊消波対策事業の推進
ななお
石川県七尾市

- 安全で安心な地域づくり
・すべての人が安全、快適に暮らせる生活環境の実現

事業の概要

国道160号は、石川県七尾市を起点とし、富山県高岡市に至る石川県能登地域と富山県を連絡する唯一の主要幹線道路です。

石川県七尾市に位置する大泊地区は、特殊通行規制区間に指定されており、越波により通行に支障をきたした場合は、緊急輸送道路としての機能が損なわれ、地域の社会活動・経済活動に大きな支障をきたすため、消波対策により防災性の向上を図ります。

整備効果

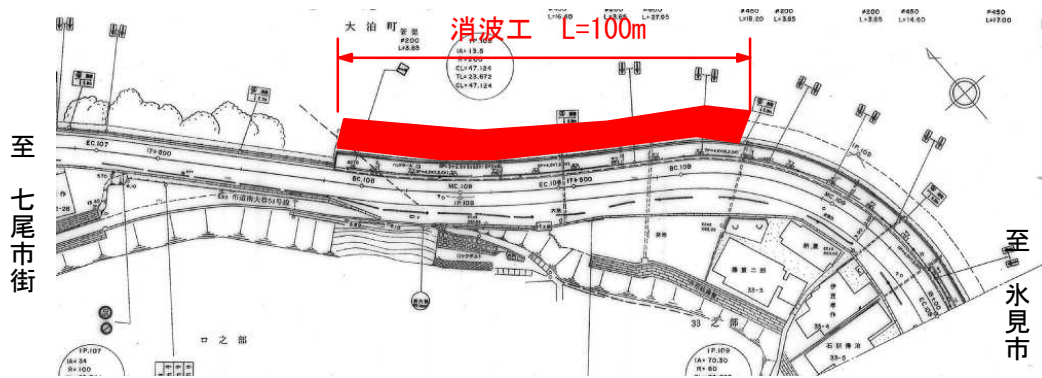
緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

事業着手

平成21年度

平成20年度二次補正予算の内容【ゼロ国】

ゼロ国債の充当により早期に消波工を実施し、安全・安心な道路ネットワークの確保を図ります。



平面図